

21世紀会「業界の健全化推進」を声明

速やかに入れ替える「検定機と性能が異なる可能性のある遊技機」

パチンコ・パチスロ産業21世紀会（代表・阿部恭久全日遊連理事長。14団体で構成）が1月26日、「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」に先立って東京・新橋の第一ホテル東京で開かれ、同賀詞交

歓会で発表する「遊技業界における健全化推進に関する声明」（別掲）を採択した。会議には14団体の代表者・幹部ら67人が出席した。

声明の内容は、14団体は協力しながら業界全体で健全化を推進すると前置きし、とくに遊技くぎ問題については早期解決のため、メーカーは検定機と同じ性能の状

態でホールに出荷設置し、ホールはメーカーから販売される適正な遊技機を導入し営業していくとしている。さらに、現状で入れ替え対象となる「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」については、メーカー、ホールが協力して可及的速やかに回収撤去していくと結んでいる。

14団体 個々の取り組み

日遊協「6団体声明を推進」

その上で、14団体が個別に具体的取組みを付記した。日遊協が掲げた取組みは、「『ぱちんこ遊技機の撤去回収等に関する声明』（平成27年12月25日）に基づく事項を確実に推進します」となっている。これは6団体（日工組、全商協、日遊協、同友会、余暇進、PCSA）が、遊技くぎ問題を契機として出した声明で、「日工組からホール団体に通知される入替が必要な型式の遊技機については、可及的速や

かにこれを撤去回収する」など6項目の合意事項を掲げている。

日遊協ほか5団体

▽全日遊連

1 「新基準に該当しない遊技機の取扱いについて（基本方針）」平成27年6月24日決議」をより推進し、組合員店舗が決議事項をいち早く達成するよう徹底して参ります。

2 「高射幸性遊技機の取扱いについての合意書」平成27年9月30日締結」をより推進し、組合員店舗が

健全化推進に関する声明を採択したパチンコ・パチスロ産業21世紀会



締結事項をいち早く達成するよう徹底して参ります。（ほか3項目）

▽日工組

1 6団体による「高射幸性遊技機の取り扱いについての合意書（平成27年9月30日付）」に基づき、新基準に該当しない高射幸性遊技機の回収を促進して参ります。

2 「遊技くぎ」に関連する事案に該当するおそれのある遊技機を関係団体と協力を得て、ホールからすみやかに回収し、適正な遊技機に入れ替えて参ります。（ほか3項目）

▽日電協

1 6団体による平成27年9月30日

「21世紀会声明」を発表した14団体代表



【別掲】

平成28年1月26日

遊技業界における健全化推進に関する声明

全日本遊技事業協同組合連合会
 一般社団法人日本遊技関連事業協会
 日本遊技機工業組合
 日本電動式遊技機工業組合
 全国遊技機商業協同組合連合会
 回胴式遊技機商業協同組合
 一般社団法人遊技場自動サービス機工業会
 遊技場自動補給装置工業組合
 遊技場メダル自動補給装置工業会
 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会
 一般社団法人余暇環境整備推進協議会
 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会
 一般社団法人電子認証システム協議会
 一般社団法人プリペイドシステム協会

理事長 阿部 恭久
 会長 庄司 孝輝
 理事長 金沢 全求
 理事長 佐野 慎一
 会長 中村 昌勇
 理事長 伊豆 正則
 理事長 古宮 重雄
 理事長 梁川 誠市
 理事長 大泉 政治
 代表理事 東野 昌一
 代表理事 笠井 聰夫
 代表理事 金本 朝樹
 代表理事 広瀬 清豊
 代表理事 小堀 豊

私たち(遊技業界に所属する14団体)は、遊技業界の現状に鑑み、ファンが安心して快適に遊技できる環境を整備し、14団体が共に協力し合いながら、身近で手軽な大衆娯楽の原点に立ち返り、遊技業界全体で積極的に健全化を推進して参ります。特に、検定機と性能が異なる可能性のあるばちんこ遊技機に関する問題については、早期に解決できるよう、遊技機製造業者は検定機と同じ性能の状態であればちんこ店に出荷設置し、ばちんこ店は遊技機製造業者から販売される適正なばちんこ遊技機を導入し営業して参ります。入れ替え対象となる検定機と性能が異なる可能性のあるばちんこ遊技機は、遊技機製造業者とばちんこ店が協力して可及的速やかに回収撤去を行って参ります。

具体的には、各団体は下記事項について取り組んで参ります。(略)



付け「高射幸性遊技機の取り扱いについての合意書」に基づき、新基準に該当しない遊技機のうち出玉情報2万枚以上の回胴式遊技機を全日遊連と協力し、撤去を促進して参ります。(ほか2項目)

▽全商協

1 安心して営業できる遊技機を提供していくために、所属する遊技機取扱主任者に対し、法令遵守の徹底と点検確認作業の更なる技術向上に向けた実技講習会を実施して参ります。(ほか1項目)

▽回胴遊商

1 登録販売業者として遊技機の販売と設置及び部品交換後の点検確認の各業務に関して、適正な業務を遂行できるよう関係法令や遊技機取り扱いに関する遵守事項等につ

いて研鑽に努める。適正な遊技機環境を構築するため、高射幸性遊技機の撤去を推進する。(ほか2項目)

中古機流通協議会

保証書作成の停止確認 「該当遊技機」発表の段階で

第98回中古機流通協議会(委員長・伊坂重憲全日遊連副理事長。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商で構成)が1月14日、東京・東上野の全商協会議室で開かれ、「検定機と性能が異なる可能性のあるばちんこ遊技

機」の中古機流通での取扱いについて審議した。

その結果、基本的に日工組から該当する遊技機のリストが発表された段階で、中古機流通のための該当遊技機の保証書作成が止まることを確認した。また、リストが発表された段階で既に入れ替えの書類を所轄署に提出していた場合は、行政の判断として無効となる可能性が非常に高いと思われることを確認した。売買取絡む細部について、全商協、全日遊連の間でさらに詰めることになった。

小柳課長が講話 全日遊連理事会

くぎ問題中心に厳しく

警察庁、小柳誠二保安課長は1月22日、全日遊連全国理事会での講話で遊技くぎの問題に言及した。同課長は1年前の同理事会での講話で同じ問題を取り上げた部分を引用し、振り返って「全日遊連としては、受け身に回ったといわざるを得ない状況が残念でならない」と苦言を呈した。

検定機と性能が異なる可能性のある遊技機について、「仮に製造業者が出荷段階で性能変更に関与し

ていたとしても、営業業者がそのような遊技機を設置し続けることは風営法違反行為となり、営業業者の風営法上の責任が免責されるわけではない」と強調した。また「健全化を図るべき事項について業界団体として先手を打つ気概を持つことを基本姿勢としてほしい」と全日遊連に求めたが、これは他のホール関係4団体への言葉でもあると受け取らねばならない。(8ページに講話の詳細)